

製品名: Rad51B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16843**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	RAD51B
別名	RAD51B; RAD51L1; REC2; DNA repair protein RAD51 homolog 2; R51H2; RAD51 homolog B; Rad51B; RAD51-like protein 1
遺伝子 ID	5890.0
SwissProt ID	O15315
免疫原	抗血清はヒト RAD51L1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 201-250

背景

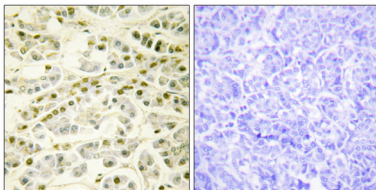
RAD51 パラログ B (RAD51B) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、RAD51 タンパク質ファミリーのメ

ンバーです。RAD51 ファミリーのメンバーは、相同組み換えによる DNA 修復に必須の、進化的に保存されたタンパク質です。このタンパク質は、ファミリーメンバーである RAD51C と安定したヘテロ二量体を形成することが示されており、RAD51C はさらに RAD51、XRCC2、XRCC3 などの他のファミリーメンバーと相互作用します。この遺伝子の過剰発現は、細胞周期 G1 期の遅延と細胞アポトーシスを引き起こすことが示されており、このタンパク質が DNA 損傷の感知に役割を果たしていることが示唆されています。子宮平滑筋腫において、この遺伝子座と高移動度グループ AT フック 2 (HMGA2、遺伝子 ID 8091) との間の再編成が観察されています。[RefSeq 提供、2016 年 3 月]、疾患: 肺軟骨過誤腫において RAD51L1 に関連する染色体異常が認められる。HMGA1 との転座は t(6;14)(p21;q23-24) である。、疾患: 子宮平滑筋腫 (UL) [MIM:150699]において RAD51L1 に関連する染色体異常が認められる。HMGA2 との転座は t(12;14)(q15;q23-24) である。、機能: DNA 複製中に生じる、または DNA 損傷因子によって誘発される二本鎖 DNA 切断の相同組換え修復 (HRR) 経路に参与する。シナプス前 RAD51 核タンパク質フィラメントの集合を促進する可能性がある。RAD51B-RAD51C 二量体は、一本鎖 DNA 依存性 ATPase 活性を示す。BCDX2 複合体は、一本鎖 DNA、二本鎖 DNA 中の一本鎖ギャップ、そして特に二本鎖 DNA 中の切断部に結合した。、類似性: recA ファミリーに属する。RAD51 サブファミリー。、サブユニット: RAD51C と相互作用する。RAD51B、RAD51C、RAD51D、XRCC2 からなる BCDX2 複合体の一部。RAD51B、RAD51C、RAD51D、XRCC2、XRCC3 からなる複合体の一部。RAD51C および RAD51 との複合体の一部。、組織特異性: 幅広い組織で発現する。、

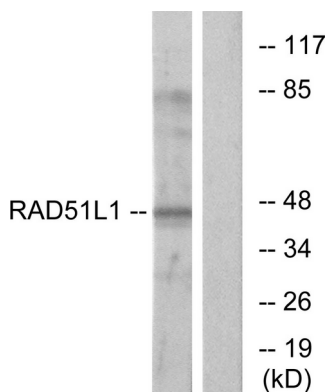
研究分野

相同組換え;

画像データ



RAD51L1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト臍臓組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



RAD51L1 抗体を用いた COS7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。